



2022年10月23日 公益財団法人 日本セーリング連盟 公益財団法人 広島県セーリング連盟

## 風弱く、最終日はノーレース

ポーランド勢がパラワールド 303 シングルで男女アベック優勝 日本勢も 2.3 シングル、303 シングルでメダル獲得



303 シングルの表彰式

「2022 ハンザクラスワールド」が最終日を迎えました。4 日間の期間中はずっと好天に恵まれましたが今日は晴天なれど風吹かず……。ハンザ 2.3 シングル、ハンザ 303 シングル、リバティ&リバティサーボの一人乗りクラスは午前中に出艇し、一旦はスタートしたものの途中で無風となりレースはコース途中でキャンセルとなりました。その後もなんとかレースを行おうと辛抱強くシーブリーズの吹き出しを待ちましたが、待てど暮らせど吹き始める気配はなく、午後 2 時、レースコミッティーは全クラスの中止がアナウンスしました。その結果、昨日までの 2 日間で行われたレースの成績が最終結果となりました。

午後 4 時から行われた表彰式では、特別賞、SDGs レース、そして「ハンザクラスアジアパシフィックチャンピオンシップ」および「パラワールドセーリングチャンピオンシップハンザクラス広島」それぞれの表彰が行われました。会場となったマリーナデッキからは刻々と変化する瀬戸内海の美しい夕景が一望できます。表彰式の後、参加者たちは名残惜しそうに写真を撮ったり、SNS を見せ合ったりと交流を深め、次の再会を約束していました。



## 大会成績

### 【2022 ハンザクラスアジアパシフィックチャンピオンシップ】(インクルーシブ大会)

#### [ハンザ 2.3 シングル] (参加 18 艇)

1 位: Allister Peek (オーストラリア)2 位: 江島 圭(セイラビリティ江の島)13 ポイント

3位:末田 航(コンスタントウインド) 13ポイント

## [ハンザ 303 シングル](参加 38 艇)

1位:Piotr Cichocki(ポーランド)
2位:Gauthier Bril(フランス)
3位:丹羽 巧(東京パラスポーツ連盟)
10 ポイント
13 ポイント

#### [ハンザ 303 ダブル](参加 31 艇)

1位: Christopher Symonds/Manuela Klinger (オーストラリア) 6ポイント

2位:Piotr Cichocki/Olga Górnaś-Grudzień(ポーランド) 10ポイント

3位:Raphael Bizieux/Gauthier Bril (フランス) 13ポイント

### [リバティ&リバティサーボ](参加9艇)

1 位:Bob Schahinger(オーストラリア) 7 ポイント 2 位:Vera Voorbach(オランダ) 7 ポイント

3 位: Cristina Rubke (アメリカ) 18 ポイント

#### [リバティサーボ](参加3艇)

位: Vera Voorbach (オランダ)
位: Cristina Rubke (アメリカ)
位: 佐々木 亮 (セイラビリティ広島)
ポイント

#### 【パラワールドセーリングチャンピオンシップハンザクラス広島】(パラアスリート大会)

## 「ハンザ 303 シングル男子](参加 18 艇)

1位:Piotr Cichocki(ポーランド) 10 ポイント

2位:Gauthier Bril (フランス) 13 ポイント

3位: 丹羽 巧(東京パラスポーツ連盟) 15 ポイント

### [ハンザ 303 シングル女子](参加 7 艇)

1位:Olga Górnaś-Grudzień(ポーランド) 22 ポイント

2位:Miray Ulas(トルコ) 43 ポイント

3 位: Alison Weatherly (オーストラリア) 51 ポイント

#### [リバティ](参加7艇)

1位:Vera Voorbach(オランダ) 7ポイント

2位:Cristina Rubke(アメリカ) 18 ポイント

3位:John Buchanan(ニュージーランド) 19ポイント





#### 【レース特別賞】

努力賞: Charin Saleesongsom(タイ)

最優秀女性賞:八木陽子(ピッコラくらぶ)

最優秀ジュニア賞:佐々木椋平(セイラビリティ高松)

最優秀上達賞: Ibrahim Kalay(トルコ)

日本で初めてハンザに乗り全レースに出場

2.3 シングルで惜しくもメダルを逃し 4 位

11歳のスキッパーとして303ダブルに出場

大会期間中の上達がめざましかった選手

#### 【SDGs レース】

1位:長谷山 裕(徳良湖ヨットクラブ) 509 ポイント

2位:アキヤマ ヤスヨ(セイラビリティ東京) 467 ポイント

3 位: 藤枝 啓称 (セイタビリティ広島) 456 ポイント

## 【SDGs レース特別賞】

Ana Paula Marques (ブラジル) 最も遠くから来日し高得点だったこと

Jimmie Thweatt (アメリカ) SDGs プロジェクトを母国でも展開する意思を表示したこと

今大会はヨーロッパ、中東、アジア、オセアニア、北米、南米の 13 カ国から 114 人の選手が参加して 4 日間の日程で行われました。最終日がノーレースとなったことから、「ハンザ 2.3 シングル」は 4 レース、「ハンザ 303 シングル」は 5 レース、「ハンザ 303 ダブル」は 6 レース、「リバティー & リバティーサーボ」は 6 レースが実施され、2 日間のトータルポイントで成績が確定しました。また、レース期間はマリーナセンターの一部を観戦スペースとして開放し、約 250 人が来場しました。

#### 選手コメント



#### 江島圭選手(2.3 シングル:アジアパシフィック 2 位)

「セーリングを始めて 4 年。2 位という成績は率直に嬉しいです。1 位の選手との差が開いたので今後の課題も分かりました。これからはどんなコンディションでも対応できるようにしたいです」



#### 末田航選手(2.3 シングル:アジアパシフィック3位)

「ハンザクラスをコンピュータ制御し無人で走らせるプロジェクトに関わったことがきっかけで、生まれ故郷の広島で開催される大会に出場することになりました。とても楽しかったです。シンガポール在住ですがこれからも機会があれば出場したいです」



## hansa HIROSHIMA 2022



#### 佐々木亮選手(リバティサーボ:アジアパシフィック3位)

「3 位といっても 3 艇しか出場していませんでしたが、レース中にトップ回航したことや、プロテストで自分の主張が通ったことなど自信が付きました。また次の大会に向けて練習していきたいです」



#### 丹羽巧選手(303 シングル:アジアパシフィック&パラワールド男子 3 位)

「3 位になったことは嬉しいです。もちろん少し悔しい気持ちもありますが、13 カ 国が出場する大会でトップ選手たちとハイレベルな戦いをした上での成績なの で自信になりました。パラアスリートとしてもっと上を目指していくと同時に、指導 者として普及にも携わっていきたいと思うようになりました。セーリング競技のパ ラリンピック復活を後押しできればと思います」



## Piotr Cichocki 選手(303 シングル:アジアパシフィック&パラワールド男子優勝)

「セーリング競技がパラリンピックに復活したら出場して金メダルを取るのが目標なので、この大会で優勝できたことはとても嬉しいです。大会はとても良く運営されており、スタッフやボランティアの皆さんもとても親切でした。広島に来るのは前回大会以来2回目ですが、また来ることを楽しみにしています」



# Olga Górnaś-Grudzień 選手(303 シングル:アジアパシフィック 7 位、パラワールド女子優勝)

「私にとってセーリングはリハビリテーションのひとつなのであまり 勝敗にはこだわっていませんが、でも優勝できたことはとても嬉し く思います」



# Vera Voorbach 選手(リバティ:アジアパシフィック 2 位、パラワールド優勝)

「前回の大会で広島がとても好きになったので、また戻ってくることができ優勝するもこともできてとても嬉しいです。最終日がノーレースになったのは残念ですが、大会を開催してくださった皆さんに感謝します」





## 【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

2022 ハンザクラスワールド広島実行委員会

公式サイト: www.hansaclass-hiroshima.com

メール: media.hansahiroshima2022@jsaf.or.jp

成績➡https://www.hansaclass-hiroshima-result.com/

公式写真➡2022 Hansa World Hiroshima

または https://www.dropbox.com/sh/6nop28d89quqk2y/AABG8XOixCxE8ErttmWLS2XKa?dI=0

公式映像のご要望は個別にご連絡ください。

電話:西朝子(090-1042-9262)